

目標：200kg/10a以上！！

大豆管理情報 第3号

平成 28 年 7 月 1 日
いなば農業技術者協議会
事務局 【JAいなば営農生産課】

小矢部市赤倉97 TEL67-8000

【西部支店】67-8200 【東部支店】67-8300

【南部支店】61-8900 【福岡支店】64-8600

【高岡農林振興センター小矢部班】26-8480

1. 適期の2回培土と排水で生育促進！！

①培土

・1回目の培土時期

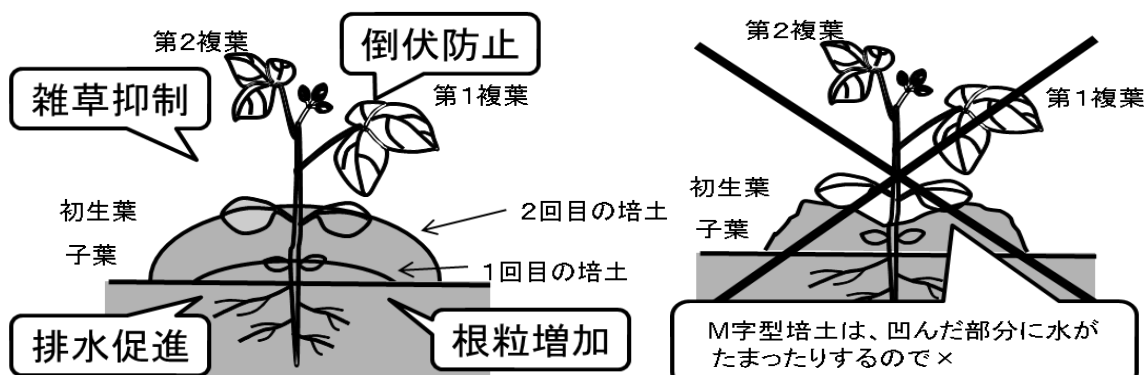
→2～3葉期（播種後20～25日頃）に子葉が埋まる程度に行いましょう。

※まだ1回も培土していない方は、早急に培土してください！！

・2回目の培土時期

→4～5葉期（播種後30～35日頃）に初生葉が埋まる程度に行いましょう。

※必ず適期の2回培土を実施しましょう！！



<良い培土：かまぼこ型>

<残念な培土：M字型>



枕地は、水が停滞しないように畦を切って連結する

②排水溝の再点検

・培土によってできた溝は、額縁排水溝などにしっかり連結し、速やかな排水ができるようにしましょう。

2. 雑草防除

・まずは、しっかり培土することで雑草の防除を行いましょう。

・除草剤を使用する場合は、以下の表を参考に使用上の注意をよく確認し正しく使用しましょう。

散布時期	対象雑草・総使用回数	薬剤名	10a 当たりの散布量	注意事項
大豆2葉期～開花前 雑草生育初期～6葉期 (収穫45日前まで)	1年生雑草 (イネ科を除く) 1回	大豆バサグラン液剤 (莖葉処理)	100～150ml (水100L)	※アガ類、ヒユ科、トウモロコシ科には効果が劣る。
イネ科雑草3～10葉期 (収穫30日前まで)	1年生イネ科雑草 1回	ポルトフロアブル (莖葉処理)	200～300ml (水100L)	・枯殺するまでに7～10日かかる。 ・適用雑草として、スミレ科を除く。 ※広葉雑草、ヤブタバコ科には効果が期待できない。
大豆本葉5葉期以降 雑草生育期 (収穫28日前まで)	1年生雑草 3回以内	パスタ液剤 (畦間・株間処理)	300～500ml (水100～150L)	・非選択的に効くので、大豆の本葉にかからないよう十分注意する。

3. 病害虫防除は適期に行う！！

・**ウコンノメイガ**：生育が旺盛で葉色が濃いほ場で発生が多く、多発すると小粒化し減収します。7月末頃に幼虫による葉巻の発生量を確認して、防除の必要があれば直ちに実施しましょう。

防除の目安：7月末頃の1株当たりの葉巻数が6個以上

防除剤：サイアノックス粉剤（4kg/10a）

・**葉焼病**：発生が認められたらZボルドー（500倍液（150L～300L/10a））や撒粉ボルドー粉剤DL（4kg/10a）などで防除しましょう。

なお、シュウレイについては、7月下旬頃に予防散布を行いましょう。

* 農薬散布の際は、農薬使用基準を厳守し、周辺作物に飛散しないよう注意して下さい。